

【科目名】臨床倫理学		【担当教員】大澤 源吾						
【授業区分】 教養分野（人文科学）	【授業コード】 1-01-0020-0-2	(メールアドレス)						
【開講時期】1・2年次 前期	【選択必修】選択	(オフィスアワー)						
【単位数】1単位	【コマ数】8コマ	月曜～水曜, 10時～16時						
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) この科目は、臨床で求められる「医の倫理」感を身に着ける基礎となる。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特記なし								
【講義概要】 (目的) 医療従事者には、一般の人よりも多くの「医の倫理」として守らなければならない約束事が多々ある。臨床現場から外れた行動をしないよう自己啓発に向け修養する。 (方法) 教科書を中心に講義を行い、様々な視点から「真の医療」ということについて学修する。								
【一般教育目標(GIO)】 ・医療従事者としての倫理感を身に付ける。								
【行動目標(SBO)】 ・今後の医療従事者として倫理ある行動をとる。 ・倫理について説明できる。								
【教科書・リザーブドブック】 伏木信次〔他〕編、「生命倫理と医療倫理」 金芳堂 改3版 ¥2,600								
【参考書】								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 本講義に関する記述式試験を実施する。 100点満点で60点以上を合格とする。								
【達成度評価】	試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	0	100点
評価	取り込む力・知識	100						
	思考・推論・創造の力							

平成 26-28 年度以降入学者用

指 標	コラボレーションとリーダーシップ							
	発表力							
	学修に取り組む姿勢							
【授業日程と内容】								
回数	講義内容	授業の運営 方法	学修課題(予習・復習)	時 間 (分)				
1	医療の歴史と倫理問題の提起	講義		30				
2	医療者と患者の関係 パターナリズムとインフォームド・コンセント	講義	教科書 P.20～P.30	30				
3	医療倫理と原則 研究と倫理、個人情報保護と倫理を含む	講義	教科書 P.168～ P.194	30				
4	生命誕生のあらまし 出生前診断、胚選別、妊娠中絶	講義	教科書 P.44 ～P.61	30				
5	生殖補助医療と親子関係 子供の知る権利	講義	教科書 P.63～P.70	30				
6	臓器移植と脳死、人工臓器と治療中止 リハビリをいつまで続けるのか	講義	教科書 P.96～P.107	30				
7	終末期医療、安楽死と尊厳死	講義	教科書 P.82～P.94 教科書 P.108～P.114.	30				
8	救急医療、災害医療と倫理	講義	教科書 P.116～P.124	30				

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。